

低温ヤケドに注意！！

暖房器具がかかせない季節になると、気をつけたいのが「低温ヤケド」です。主な原因となる、使い捨てカイロ、湯たんぽ、こたつ、電気カーペットは特に注意が必要です。低温ヤケドは、触れていてもあつくなく、心地よく感じる程度のもので、同じ部分に長時間接触していると発生するヤケドです。

低温ヤケドになるおよその目安	44℃で3～4時間
	46℃で30分～1時間
	50℃で2～3分

低い温度でじわじわ、ゆっくりと症状が進むため熱さや痛みを感じにくく、見た目は軽症に見えても皮膚の深い部分まで達する重症のヤケドになってしまい、治療に時間を要する場合があります。

低温ヤケドを防ぐには、身体と同じ場所に長時間、暖房器具が触れないようにすること。

もしも低温ヤケドになってしまった場合、通常のヤケドとは違い、水で冷やしても応急手当の効果がありません。期待できないため、早めに医療機関を受診しましょう。

B型肝炎ワクチン 始めました

血液や体液による濃厚接触で感染する可能性が報告され、
保育園での集団感染も報告されました。

予防目的で接種することをおすすめします。

生後2ヵ月から接種できます。全3回接種。

初回から4週間後に2回目。

2回目から6ヵ月後(20～24週)に3回目。

費用は1回 5250円



漢方よもやま話(46)

漢方薬



新年明けましておめでとうございます。

まだ記憶に新しいと思いますが、昨年末、中村勘三郎が亡くなりました。何度か歌舞伎座の舞台を見たこともあり、私と同じ57歳ということで、ショックを受けました。健康にくれぐれも留意して、皆さん、今年も一年頑張りましょう。

私も、いったん仕事を離れると、ロータリークラブの活動に携わっています。現在は、埼玉県北東部の高校生の、海外の高校生との交換留学システムのお手伝いをしています。国内外の高校生から、そして、診療では、若いお母さんから毎日パワーをいただいています。しいて言えば、それが私の一番のアンチエイジングでしょうか。

さて、“青春のシンボル”にきびについてです。若い頃、私もおおいに悩まされました。皮膚科では、しばしば、抗生物質が長期に投与されます。内服当初は効果があるようですが、そのうちあまり効かなくなります。また、弊害としては、ほかの病気になった時に抗生物質が効きにくくなる傾向があります。

にきびの原因としては、ストレス、睡眠不足、便秘、体質などがあります。

当院では、外用剤(塗り薬)に加えて、1週間抗生剤投与後、症状により、漢方薬とビタミン剤投与に切り替えます。それでも症状に改善が見られない場合は十味敗毒湯、多少改善がみられるようなら清上防風湯、便秘がひどいようなら麻子仁丸を処方します。

100%治ることは難しくても、かなり改善している患者さんを多く見かけます。にきびにお悩みの方、一度院長にご相談ください。

病児保育室「とんことり」 保育士おすすすめの1冊

いちにちおもちゃ



【いちにち おもちゃ】

いつも楽しく使っているおもちゃ達。皆さんはおうちや幼稚園、保育園にあるおもちゃは大切にしていますか？

この本を読む前に、皆さんも頭の中で「一日おもちゃ」をやってみてはどうでしょう。

この本と一緒にかな？それとも、ちょっと違うかな？

作者 　　ふくべ あきひろ

絵　　　　かわしま ななえ

保育士　　上田 洋子

今号のスタッフ一言日記

あけましておめでとうございます。本格的に寒くなってきましたね。私は、とても冷え症なのですぐに手足が冷たくなってしまって大変です。普段は冷たい飲み物が好きなのですが、この時期はなるべく温かい飲み物を飲むように心がけています。これから、インフルエンザが流行する季節になるので、みなさんも温かくして体調には気をつけて下さいね。

医事課　　山本真未